
開講科目名：管理会計特殊研究（4単位）
開設年次：1年 2年 3年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：宮城 厚志

《授業の概要》

講義の目的は、一般に理解されている学術的な管理会計論に対して、実務から生まれたともいえる管理会計論（京セラ稲盛名誉会長のアメーバ経営に用いられる管理会計システム論：以下「アメーバ管理会計論」）の理論体系と問題点を研究することにある。アメーバ管理会計論は「時間当たり採算制度」と呼ばれ、学術的な管理会計論とは一線を画している。そこで本講義は、学術的な管理会計論と比較することによって、アメーバ管理会計論の特質を理解できるよう講義する。研究方法としては、アメーバ管理会計論を管理会計学の立場から学術的に研究した文献を用いながら、その理論体系と問題点を検討していくものとする。以上から前期講義では、まずは稲盛名誉会長の著書を用いてアメーバ管理会計自体の内容を理解することに努める。つぎに後期講義では、文献を用いながらアメーバ管理会計論の理論体系や問題点をディスカッション形式で議論していきたい。本講義を通して、社会人学生の方には実務的な観点から、一般学生の方には素朴な疑問の観点からアプローチしていただき、基礎的研究手法の習得を目指していきたい。具体的な講義内容は、以下を予定している。

（前期）

- 1 財務会計論と管理会計論の相違
- 2 学術的な管理会計論の基礎知識
- 3 経営のための管理会計
- 4 アメーバ経営の仕組み
- 5 アメーバ経営における管理会計システム（アメーバ管理会計論）

（後期）

- 6 アメーバ管理会計論の文献購読？
- 7 アメーバ管理会計論の文献購読？
- 8 アメーバ管理会計論の文献購読？
- 9 事例研究
- 10 理論体系と問題点の総括

《テキスト》

テキストは主に『アメーバ経営学?理論と実証?』アメーバ経営学術研究会[編]（丸善出版）を使用するが、適宜抜粋したものを講義中に配布する

《参考書》

- 『稲盛和夫の実学（経営と会計）』（日本経済新聞出版社）
『アメーバ経営』（日本経済新聞出版社）
『管理会計』櫻井通晴（同文館出版）